



住田 諒介 薬剤師  
(岡山県薬剤師会吉備支部から)

「お薬手帳はお持ちですか」と、薬局に処方箋を持って行ったときに尋ねられた人は多いのではないのでしょうか。お薬手帳はどのようなもので、どんなメリットや活用法があるのか紹介します。

お薬手帳とは、今までに飲んだ薬の情報が時系列順に記録されていく薬の履歴書のようなものです。他にも、薬の副作用や

今月のテーマ **お薬手帳**

お薬手帳を活用しよう

アレルギー、既往歴、かかりつけ医療機関、体調について伝えたいことなどを記入する欄があります。これらの情報から、受診状況や病状、治療の経過が確認できるため、診察がスムーズに行え、薬の重複や飲み合わせなどの問題が無いかチェックすることができます。また、3カ月以内に同じ薬局に処方箋を持って行った際、お薬手帳があれば薬代が10～40円安くなります。普段から薬を飲んでいる人は、持参した方が医療費を安く抑える



問い合わせ 健康医療課健康増進係 (☎②8259)

ことができます。お薬手帳を使い終わっても新しく用意できるので、薬局に相談してください。最近では、電子お薬手帳も急速に普及しています。小さい子や高齢者など、自分で管理が難しい人の情報をスマートフォンでまとめて管理でき、紙のお薬手帳を普段から持ち歩かなくてもいいので、急病などで受診する際にも安心です。他にも、血圧の管理や事前に処方箋の画像を指定の薬局に送信する機能などがあります。興味のある人は、電子お薬手帳アプリを利用してみてください。

安全・安心

総社署からのすすめ

フィッシング詐欺とは、企業からのメールを装い、受信者を偽のWebページにアクセスするように誘導し、そのページでユーザーIDやパスワード、クレジットカード番号などを入力させ、情報を盗み取る行為のことをいいます。最近では、電子メールの送信者名を偽り緊急を装う文面を送信するだけでなく、アクセスした偽のWebサイトと本物の区別がつかないようなデザイン

フィッシング詐欺の被害が増加中

ンにしておくなど、どんどん手口が巧妙になっており、サイトを見ただけではフィッシング詐欺と分からないケースが増えてきています。

詐欺の手口としては、  
○送り状番号などの必要な情報が無い荷物の不在通知  
○申し込んでいない当選通知  
○インターネット通信販売業者やクレジットカード会社などを装った身に覚えのない料金未払いに関する連絡  
などがあります。こうした内容のメールやSMSを受信した場合は、フィッシング詐欺を疑ってください。今後、フィッシング

監修・問い合わせ 総社警察署 (☎②0110)

詐欺に遭わないためにも、  
○ユーザーIDやパスワードは使い回しをしない  
○個人情報を安易に入力しない  
○不審なSMSやメールのURLをクリックしない  
○提供元不明のアプリをインストールしない  
など、対策を取りましょう。フィッシングサイトと本物のサイトを見分けることは非常に困難です。サービスにログインする際は、メールやSMS内のリンクからではなく、いつも利用している公式アプリやブラウザのブックマークなどからアクセスするように心掛けてください。

総社に伝わる昔話  
市指定重要文化財に指定



指定書を手にする立石さんと佐野さん(写真左から)

総社市に伝わる昔話が、初の無形民俗文化財として市指定重要文化財に指定されました。対象は、『食わず女房』や『継子と魚』など60話。本格昔話や笑い話、動物昔話など多種多様な話が残っていることなどから、資料的価値が高いと認められました。

市役所で11月24日、昔話の調査研究を長年行ってきた岡山民俗学会名誉理事長の立石憲利さんと、昔話の伝承を行う吉備路伝説を語る会会長の佐野静樹さんに指定書が交付されました。立石さんは、これまで全国の昔話約1万話を記録に残してきました。吉備路伝説を語る会は、市内の小学校などで昔話の語りを披露する活動を行っています。

問い合わせ 観光プロジェクト課文化財係 (☎②8363)



市長は、「補正予算で危険箇所を整備し、子どもの安全を守る」と説明した

11月19日、臨時市議会が開催され、交通安全対策経費1億2000万円を増額する令和3年度一般会計補正予算が原案どおり可決されました。  
補正予算は、市内の国道で横断歩道を渡っていた親子2組が乗用車にはねられた事故を受け、通学路など

の安全対策を強化するもの。道路の路側帯を緑色に着色するグリーンベルトを市内の小・中学校、幼稚園、認定こども園全37校園の周辺などに整備し視覚的にドライバーに注意喚起するほか、必要箇所にかーブミラーや側溝ふた、標識などを設置します。

11月臨時市議会を開催

問い合わせ 総務課行政係 (☎②8218)

通学路などの安全対策に1億2000万円

企業版ふるさと納税として  
総社市へ寄付をいただきました



市長からあいおいニッセイ同和損害保険株式会社工場山支店地域戦略室の柳原隆弘室長に感謝状を贈呈

企業版ふるさと納税として、本市に寄付をいただいた企業を紹介します。

■企業名(本社所在地)、寄付金額、活用事業

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社(東京都渋谷区)、10万円、誰もが安心して住みたくなる総社事業

問い合わせ 魅力発信室 (☎②8211)

多様な性を認め合う社会を目指して

ファミリーシップ制度を導入

12月1日、市は性的マイノリティを含むカップルの子や親などを家族として認めるファミリーシップ制度を中国地方で初めて導入。同日、制度開始を記念して市役所で開催された式典では、当事者の社会生活を支援することなどを盛り込んだ「多様な性を尊重するまちづくり宣言」を発表しました。

市では、性的マイノリティを含むカップルを婚姻相当と認めるパートナーシップ制度を既に導入。ファミリーシップ制度では、パートナーシップ宣誓者いずれかの実子や養子、両親など3親等内の血族を家族として証明します。証明を受ければ、家族として市営住宅に入居したり、医療機関によっては病状の説明を受けたりすることなどが可能です。

問い合わせ 人権・まちづくり課人権啓発係 (☎②8253)